



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 貴昭 TEL 03-5363-4872
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,922	△17.3	△48	—	△70	—	△122	—
2023年3月期第3四半期	3,535	0.2	△206	—	△202	—	△170	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △103百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △143百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△20.55	—
2023年3月期第3四半期	△28.63	—

(注) 2023年3月期第3四半期及び2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	1,433	101	6.4	15.39
2023年3月期	4,724	211	4.2	32.84

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 91百万円 2023年3月期 196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

通期の連結業績予想につきましては、株式会社ブラップジャパンとの資本業務提携に関する協議について、2023年11月13日付「資本業務提携契約の解除、第三者割当による新株式発行の中止、臨時株主総会の開催中止及び基準日の取消し、決算期変更を含む定款一部変更並びに主要株主である筆頭株主の異動及び親会社の異動の取消しに関するお知らせ」において資本業務提携契約の解除による事象が発生したことにより、業績計画に関する見込み、資金計画に関する見込み等、改めて精査が必要となり、今後の期中の業績に与える影響が不透明であるため、引き続き通期の連結業績予想を未定とさせていただきます。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,108,600株	2023年3月期	6,108,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	136,053株	2023年3月期	136,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,972,566株	2023年3月期3Q	5,972,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の撤廃による経済活動の正常化や、インバウンド需要が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準近くまで回復する傾向も見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、原材料及びエネルギー価格の高騰や、中東情勢の緊迫化等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは「全ての魅力にスポットライトが当たる社会へ」を新たなコーポレートビジョンとし、付加価値の追求による企業価値向上のためのプロダクト開発・提供を通じた、高付加価値経営を軸とした新経営方針のもと、コロナ禍以降のニーズ・市場の成長を見据えたうえで戦略を策定し、プロダクト投資を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,922,628千円（前年同期比17.3%減）、営業損失48,385千円（前年同期は営業損失206,711千円）、経常損失70,802千円（前年同期は経常損失202,195千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失122,721千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失170,975千円）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりです。

(デジタルPR事業)

デジタルPR事業は、企業や官公庁・団体等に対して、インフルエンサーPRサービス、新聞・雑誌・WEB・SNS等各種メディアの調査・報告サービス、製品やサービス・事業等に関するリリース配信サービスを運営しております。

当第3四半期連結累計期間において、リリース配信サービスについては、2023年9月にリリースいたしましたショート動画サービスへの傾注、及び既存顧客の取引単価を大幅上昇させることを優先事項として取り組みました。そのため、施策方針の影響もあり、利用社数、配信数ともに減少（それぞれ前年同期比25.2%減、前年同期比17.4%減）となりました。インフルエンサーPRサービスは、セミナー開催や代理店等の法人へのPR活動等の積極的な販促活動に基づいた営業活動の効果もあり、案件数は増加（前年同期比11.6%増）しました。クリッピングサービスについては、昨今の紙媒体数減少の影響もあり案件数は減少（前年同期比11.0%減）しました。

また、クリッピングサービスよりスピニアウトしましたリスクチェックサービスについては、コンプライアンス意識の高まりを受け、案件数は大幅に増加（前年同期比51.6%増）しました。

この結果、デジタルPR事業の売上高は1,883,055千円（前年同期比2.0%減）となり、セグメント利益は322,849千円（前年同期比4.3%増）となりました。

(シェアオフィス事業)

シェアオフィス事業については、2023年6月29日に開催しました当社定時株主総会にて事業譲渡の決議を行い、ヒューリック株式会社（国内シェアオフィスサービスのうち、クロスコープ横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業）へ2023年9月1日に譲渡いたしました。また、クロスコープ横浜拠点に関しましても、2023年10月末日に閉鎖をおこなった影響もあり、主要サービスであるシェアオフィスについては、国内拠点について累積稼働席数は大幅に減少（前年同期比44.8%減）となりました。海外拠点につきましても、前年度にタイ拠点の撤退を行う等、リストラクチャリングによる統廃合の進行もあり、累積稼働席数は減少（前年同期比25.1%減）いたしました。

費用面におきましては、事業譲渡及び拠点閉鎖による整理に要すべき費用負担もあり、黒字化まで時間を要する状況となっております。

この結果、シェアオフィス事業の売上高（セグメント間売上高を除く）は1,039,572千円（前年同期比35.6%減）となり、セグメント損失は67,270千円（前年同期は228,377千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は1,433,065千円と、前連結会計年度末に比べ3,291,023千円の減少となりました。資産の減少の主な要因は、国内シェアオフィスサービスのうち、国内9拠点に係る事業譲渡をヒューリック株式会社に行ったこと等による有形固定資産1,120,866千円の減少及び差入保証金が1,379,175千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は1,331,405千円と、前連結会計年度末に比べ3,180,911千円の減少となりました。負債の減少の主な要因は、国内シェアオフィスサービスのうち、国内9拠点に係る事業譲渡をヒューリック株式会社に行ったこと等による資産除去債務（流動負債計上分を含む。）650,774千円及び預り保証金（長期預り保証金を含む。）354,297千円の減少、また、各銀行への返済を行ったことによる長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が1,475,331千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は101,660千円と、前連結会計年度末に比べ110,112千円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失122,721千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績見通しについては、2023年10月16日のプレスリリース「特別利益の計上（見込み）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しておりますとおり、通期の連結業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきますことが適切であると判断いたしました。

未定としました事由につきましては、2023年9月14日付「株式会社プラップジャパンとの資本業務提携、第三者割当による新株式発行、並びに、主要株主である筆頭株主の異動及び親会社の異動に関するお知らせ」及び「臨時株主総会の開催及び臨時株主総会招集のための基準日設定並びに決算期変更を含む定款一部変更に関するお知らせ」に記載しましたとおり、株式会社プラップジャパンとの資本業務提携における経営資源（事業資産、人的資源及び顧客基盤等）のシナジー効果について体制協議をおこなっておりましたが、資本業務提携に関しまして、2023年11月13日付「資本業務提携契約の解除、第三者割当による新株式発行の中止、臨時株主総会の開催中止及び基準日の取消し、決算期変更を含む定款一部変更並びに主要株主である筆頭株主の異動及び親会社の異動の取消しに関するお知らせ」において資本業務提携契約の解除による事象が発生したことにより、業績計画に関する見込み、資金計画に関する見込み等、改めて精査が必要となり、今後の期中の業績に与える影響が不透明であるためであります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは第2四半期連結会計期間末で債務超過となりました。当第3四半期連結会計期間末では債務超過を解消したものの当第3四半期連結累計期間において営業損失を計上しており継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しております。しかし、黒字化に時間を要しておりました「シェアオフィス事業」についてクロスコープ横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業をヒューリック株式会社へ2023年9月1日に譲渡し、またクロスコープ横浜拠点については10月31日に閉鎖したことにより、収益構造の改善が見込まれることから継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,895	341,808
受取手形、売掛金及び契約資産	342,358	308,887
その他	324,564	205,296
貸倒引当金	△4,524	△3,236
流動資産合計	1,677,293	852,755
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,646,792	82,644
工具、器具及び備品	514,032	50,015
使用権資産	422,127	469,748
その他	69,910	26,857
減価償却累計額	△1,420,661	△517,930
有形固定資産合計	1,232,201	111,335
無形固定資産		
のれん	87,871	85,681
ソフトウェア	184,620	155,928
その他	623	67,237
無形固定資産合計	273,115	308,847
投資その他の資産		
差入保証金	1,474,624	95,449
その他	160,566	167,901
貸倒引当金	△93,713	△103,224
投資その他の資産合計	1,541,478	160,126
固定資産合計	3,046,795	580,309
資産合計	4,724,089	1,433,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,000	120,494
1年内返済予定の長期借入金	528,288	122,771
未払金	334,536	311,169
未払法人税等	20,766	4,540
契約負債	503,384	369,663
リース債務	100,439	104,150
その他	528,790	160,308
流動負債合計	2,549,206	1,193,097
固定負債		
長期借入金	1,194,813	124,999
資産除去債務	659,407	8,210
リース債務	57,957	—
その他	50,931	5,096
固定負債合計	1,963,110	138,307
負債合計	4,512,316	1,331,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,789	354,789
資本剰余金	294,556	294,556
利益剰余金	△402,303	△525,025
自己株式	△83,906	△83,924
株主資本合計	163,136	40,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,214	7,266
為替換算調整勘定	30,846	44,229
その他の包括利益累計額合計	33,060	51,495
新株予約権	2,632	212
非支配株主持分	12,943	9,556
純資産合計	211,772	101,660
負債純資産合計	4,724,089	1,433,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,535,152	2,922,628
売上原価	2,102,565	1,498,242
売上総利益	1,432,587	1,424,385
販売費及び一般管理費	1,639,299	1,472,770
営業損失(△)	△206,711	△48,385
営業外収益		
受取利息	1,011	968
受取手数料	497	255
リース解約益	17,835	—
その他	6,921	2,165
営業外収益合計	26,265	3,388
営業外費用		
支払利息	19,404	15,930
為替差損	—	5,924
その他	2,343	3,951
営業外費用合計	21,748	25,806
経常損失(△)	△202,195	△70,802
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,420
固定資産売却益	—	8,626
資産除去債務戻入益	—	100,650
特別利益合計	—	111,696
特別損失		
減損損失	30,203	—
事業譲渡関連損失	—	155,586
特別損失合計	30,203	155,586
税金等調整前四半期純損失(△)	△232,398	△114,692
法人税、住民税及び事業税	9,265	6,052
法人税等調整額	△69,613	1,443
法人税等合計	△60,348	7,496
四半期純損失(△)	△172,050	△122,188
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,075	533
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170,975	△122,721

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△172,050	△122,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	5,052
為替換算調整勘定	28,681	13,903
その他の包括利益合計	28,910	18,955
四半期包括利益	△143,140	△103,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,816	△104,286
非支配株主に係る四半期包括利益	△324	1,053

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,921,487	1,613,665	3,535,152	—	3,535,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	982	982	△982	—
計	1,921,487	1,614,648	3,536,135	△982	3,535,152
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	309,668	△228,377	81,291	△288,003	△206,711

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△288,003千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて、新型コロナウイルス感染拡大等による影響を受け、シェアオフィスの撤退や一部フロアの賃貸借契約の解約を決定した拠点について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては30,203千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,883,055	1,039,572	2,922,628	—	2,922,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,052	1,052	△1,052	—
計	1,883,055	1,040,624	2,923,680	△1,052	2,922,628
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	322,849	△67,270	255,578	△303,963	△48,385

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△303,963千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産等に関する情報

(事業譲渡による資産の著しい減少)

当第3四半期連結累計期間において、「シェアオフィス事業」を構成していた国内シェアオフィスサービスのうち、クロスコープ横浜拠点に係るものを除く9拠点に係る事業をヒューリック株式会社に譲渡しました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「シェアオフィス事業」のセグメント資産が2,573,645千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。